

『高等教育機関における障害者差別解消法と 合理的配慮に関する理解度テスト』

教職員対象全国調査へのご協力をお願い

(教職員配布用)

合理的配慮の
提供が
法的義務に！

Q. 合理的配慮とは何か
説明できますか？



この理解度テストで・・・

- ✓ 障害者差別解消法と合理的配慮の理解度を小テスト形式でチェック
- ✓ 回答後、専門家による解答・解説
- ✓ 学習の参考となる無料の資料（WEBサイト）も提供

【対象者】

高等教育機関に在籍する教職員
(事務職員や非常勤講師を含みます)

●ご協力の流れ ※下記の学校の承諾を得て実施しております

- 1) 「教職員調査参加フォーム」(URLまたは二次元コードより)へのご入力
<https://forms.office.com/r/GT92khhW4P> ※下記の学校名と学校IDが必要です



学校名

長崎大学

学校ID

10

2025年12月31日
まで

- 2) 「理解度テスト回答フォーム」へのご回答(42問 約30分 複数回、回答可能)

※「1:教職員調査参加フォーム」回答後、URLと個人IDが自動でメール送信されます
※様々な教職員を対象とするため、難しい問題や業務との関連が薄い問題も含まれます
※理解度テストの回答結果につきましては、個人が特定されない形で、学校ごとに
「回答者数」「テスト結果の概要(平均点など)」「特に正答率が低い設問」などを
学校担当者にお伝えすることがあります

●理解度テスト監修者

川島 聡 (放送大学教授)

専門は障害法、国際人権法。
内閣府障がい者制度改革推進
会議(障害者政策委員会)差
別禁止部会構成員。日本障害
法学会理事、障害学会理事、
国際人権法学会理事、全国高
等教育障害学生支援協議会
(AHEADJAPAN)理事など

竹田 一則 (筑波大学教授)

専門は障害科学。文部科学省
「障害のある学生の修学支援
に関する検討会」(第一次から
第三次まとめ)座長、内閣
府「障害者政策委員会」専門
委員、全国高等教育障害学生
支援協議会(AHEADJAPAN)代
表理事など

村田 淳 (京都大学准教授)

京都大学DRC(障害学生支援
部門)部門長。ディスアビリ
ティ・インクルージョンセン
ター(DIINセンター)・セン
ター長。HEAP(高等教育アク
セシビリティプラットフォーム)
ディレクター。障害学生
支援に係る豊富な実務経験

●実施体制 本調査は筑波大学人間系研究倫理委員会の承認を得て実施しています(筑2025-52A)

【障害学生支援e-learningコンソーシアム】令和7年6月設置

障害学生支援の一層の充実に寄与するため、以下の機関が連携実施

<構成員>

筑波大学 ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)
東京大学 障害と高等教育に関するプラットフォーム(PHED)
京都大学 高等教育アクセシビリティプラットフォーム(HEAP)
放送大学 障がいに関する学生支援相談室
一般社団法人全国高等教育障害学生支援協議会(AHEAD JAPAN)

<協力機関>

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)

本調査後の展望

一定の信頼性・妥当性
のあるテスト開発を
行うとともに短縮版や
学習教材を作成します
e-learning形式で
全国展開を目指します

本件問い合わせ先

<事務局>

筑波大学ヒューマン
エンパワーメント推進局
radd-info@un.tsukuba.ac.jp